

障がいのある方の雇用に取り組む

株式会社ティーエーシー（京都市下京区）

「京都はあとふる企業」です

◆主な事業内容：警備業

障がいのある方が従事している仕事

建築工事現場の駐車場出入り口等での人や車の交通誘導
電気工事現場の車や人の交通誘導

障がい者雇用の経緯

Aさん、Bさんの2名が働いていますが、入社後、事故や病気で障がいが残られた方です。警備の仕事は体力が必要となるので、勤務を続けることには難しい面もありましたが、おふたりとも、なんとかしてでも仕事を続けたいと努力してくれました。こうした姿から会社としても続けていただくためにどうしたらよいかを考え工夫しました。



【Aさん、Bさんにお聞きしました】

◆障がいによって苦労されたことは

これまでできたことが、できなくなったことへの不自由さやもどかしさ、それを受入れることに苦労しました。

◆仕事をする中で嬉しいことは

周りの方々が励ましくくださるときです。

◆これからの目標

働ける限り、周りの方々に迷惑をかけないよう警備の仕事の続けたいと思っています。



仕事における工夫

- ・できる仕事、できない仕事を見極めることからはじめ、どの仕事であれば配置可能かを考えました。
- ・勤務日数や時間の配慮のほか、通常2人体制を3人体制にした現場研修を行い、1年ほど時間をかけ、勤務可能か判断するようにしました。本人たちの努力もあって、今では、他の警備員と同じようにフルタイムで仕事に就き、一人でも現場を担当できるようになりました。
- ・片足が義足のため、急な動きができないことや、内部障がいのため疲れやすく、休息場所の確保が必要なこと等、取引先の理解を得るため、会社から説明するのはもちろん、本人からもしっかりと説明してもらっています。できること、できないことを明らかにし、最大限のパフォーマンスを発揮することで信頼を得ています。



令和元年5月作成